
編集後記

21世紀がどのような年になるのか期待(?)しながら新年を迎えましたが、それからはや一年が経とうとしております。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昨今われわれの周囲は、国際的には“テロ関連”の報道がふき荒れ、国内では“構造改革”の声が叫ばれております。高齢者や健保本人の受診時自己負担の増額や診療報酬の引き下げの声も聞こえてきます。

お手元に日本透析医会雑誌16巻3号をお届けします。本号では感染・災害など危機への対策を述べた論文が5編掲載されましたが、これらは実際の経験に基づくものばかりで貴重な内容です。最近災害が多く発生している時に、これらに対する備えをしすぎて過ぎることはないと思います。一方、透析医療経済の問題は、健康保険制度や医療費が大きく変わるとの声がある現在、基本的問題から学んでおく必要があります。その意味で医療経済論文『透析医療と経営』は参考になるでしょう。また医療廃棄物の問題や透析患者の栄養の問題も透析療法の質、患者のQOLの向上のために重要なことからです。その他、有益な論文が多く掲載されておりますので、どうぞご熟読下さい。ご多忙中、このように立派な論文を執筆して下さい先生方には心から感謝の意を表します。

来年こそ平和の年であり、透析医療でもさらに良質の透析が行うことができ、充実した年であるように願ってやみません。広報委員会でもさらに皆様の役に立つ雑誌を発行して行きたいと念じております。

では先生方にはどうぞよい年をお迎え下さい。

広報委員会副委員長 飯田喜俊